

ハーブを使ったイベント開催

5月22日、道の駅ゆーぱるのじりで「ハーブ祭りinのじり」が開催されました。美容コスメ、ハーブ寄植え教室、旬の野菜とハーブのワークショップなどのイベントを実施。お楽しみ抽選会も行われ、多くの家族連れで賑わいました。



初夏の風物詩「ホタルまつり」開催

5月21日から6月5日にかけて、「出の山ホタル恋まつり」が出の山公園で開催されました。期間中は、普段は保護のため立ち入り禁止にしている水路沿いの遊歩道を開放。市内外から述べ8200人が来場し、間近で乱舞するホタルを観賞しました。



メロンマンゴーフェア盛況

5月28日、第5回メロン・マンゴーフェアがのじりこぴあで開催されました。県ブランド「めろめろメロン」を含むアールスメロン1万4000個、「太陽のタマゴ」を含む完熟マンゴー2800個を販売。合計2790万円を売り上げました。



三松地区で徘徊模擬訓練を開催

5月22日、認知症で徘徊する高齢者の対応を学ぶ「認知症見守り声かけ訓練」が三松校区で行われました。地域住民ら約60人が参加し、「認知症の人が家を出て戻らない」という想定のもと、徘徊者役の人への声かけを体験しました。



絵本フォーラム 2016 開催

6月11日、「絵本フォーラム 2016」が市立図書館で行われました。講演には、児童文学作家の富安陽子さんが登壇。「子どもたちの本を読む機会は少なくなっている。読書の面白さを伝えるために背中を押してあげてほしい」と話していました。



「牛乳の日」で乳製品をPR

6月2日、酪農青年女性連絡協議会が市長を訪問し、乳製品消費拡大をPRしました。同協議会の会員ら3人が、乳牛柄の法被を着て新鮮な牛乳を贈呈。加藤教昭会長は「多くの人に、おいしい牛乳を味わってもらいたい」と話していました。



市内 20 法人目の NPO 法人設立

6月21日、NPO法人ごきげんかいの設立認証書交付式がありました。ごきげんかいは、高齢者や障がい者などの生活支援などに取り組みます。設立代表者の津山千鶴子さんは「誰もが笑顔で暮らせるまちを目指し活動していきます」と話していました。



小水流さん、ソフトテニスで全国へ

6月16日、うっちゃまスポーツ少年団の小水流里菜さん（三松小6年）が全国大会出場を市長に報告しました。小水流さんは4月に行われた県大会で優勝。7月の全国大会へ出場します。「全国制覇目指して頑張ります」と豊富を述べました。



小林にゆかりのある田中選手 マラソンでリオ五輪出場

3月開催のリオ五輪最終選考会となった名古屋ウィメンズマラソンで、オリンピック出場の切符を手にした田中智美選手。野尻在住の上野清治さんの孫にあたる田中選手のリオ五輪出場報告会が、6月17日に開催されました。会場には田中選手を応援したいと、約250人が駆けつけました。



報告会の様子。8月14日、小林・須木・野尻でパブリックビューを予定しています。詳しくは、7月15日号でお知らせします



肥後市長（写真左）と本坊会長（右）。いただいた寄附金は、水資源の調査や保全などに活用します

水資源の調査と保全のため (株)C A B が100万円寄付

6月17日、小林の水を使ったミネラルウォーターの販売を行う株式会社クリーン・アクア・ピバレッジが、市へ100万円を寄付しました。贈呈式で本坊修代表取締役会長は「会社が続けるのは、小林の水や人のおかげです。少しでも小林市の力になればうれしい」と話していました。

将来を担う子どもたちのため 森岡一男さん米8俵を寄贈

5月17日、東方の森岡一男さんは子どもの貧困対策に活用してほしいと、市にお米8俵を寄贈しました。森岡さんは、「子どもの貧困に関心を持っている。なんとか、貧困の連鎖を断ち切りたい。このお米を、将来を担う子どもたちに食べてほしい」と話していました。



中屋敷教育長（左）と森岡さん（右）。いただいたお米は、趣旨にそって大切に使用させていただきます



刈初の儀を行う同社山之上道廣代表取締役。「このまちに育てられた会社です。少しでも恩返しができるれば」と話していました

(株)ミヤザキと企業立地協定 細野に4つ目の工場を新設

5月20日、市と(株)ミヤザキは企業立地協定を締結しました。合成樹脂加工業の生産拡大のため、同社としては市内で4つ目となる工場を細野に新設します。5月27日には、新設工場の安全祈願祭が行われました。10月からの操業開始を予定しており、新規雇用約30人を見込んでいます。

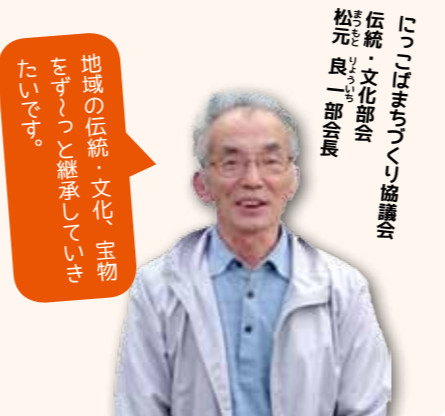
取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、西小林地区

小学3年生と地域の伝統・文化の名所を探検

伝 統・文化部会では、西小林小3年生が地域の伝統・文化の名所を巡るコスモス科の授業に協力し、講師として一緒に地域を巡ります。今年度は6月7日に晴天の中、校歌に出てくる大出水湧水や巣ノ浦天神、それに鬼目薬師堂、市民の森公園エヒメアヤメ自生地などを巡りました。児童たちは、初めて行くと

ころが多くとても新鮮で生き生きとした表情でした。また、毎年夏休みには、西小林小及び幸ヶ丘小教職員と地域内の伝統・文化の名所巡りを行っています。毎年伝統・文化カレンダーも作成していますが、地域の伝統・文化、宝物をたくさんの人に知っていただき、ずっと継承していきたいと考えています。



地域の伝統・文化、宝物をずっと継承していきたいです。

伝統・文化部会
松元良一代表
長一男 協働会

熊本地震の被災者のために 野尻地区の住民らが募金

6月3日、輝けフロンティアのじりと野尻町区長会から日本赤十字社宮崎県支部へ熊本地震災害義援金が贈呈されました。義援金は、野尻地区住民からの要望に応え、両組織が募金活動を実施。「熊本地震の被災者へ届けてほしい」と5月末までに981,211円が寄せられました。



肥後正弘日赤小林地区長へ義援金を手渡す、輝けフロンティアのじりの山口健会長（中）と野尻町区長会の永田晃一会長（左）



合同練習後の記念撮影。同協会は、昼食で宮崎牛の焼肉やこいこくを振るまうなど、松橋中の選手らをもてなしました

全国大会優勝の被災中学招き ハンドボールの合同練習行う

5月29日、小林ハンドボール協会は熊本地震で被災した熊本県宇城市の松橋中女子ハンドボール部13人を招き、市内中学校との合同練習を行いました。松橋中は今年3月の全国大会で優勝した強豪校。地震の影響で、練習が出来ていないこと知った、同協会が今回の合同練習を企画しました。生徒らは本番さながらのプレーで交流を深めました。